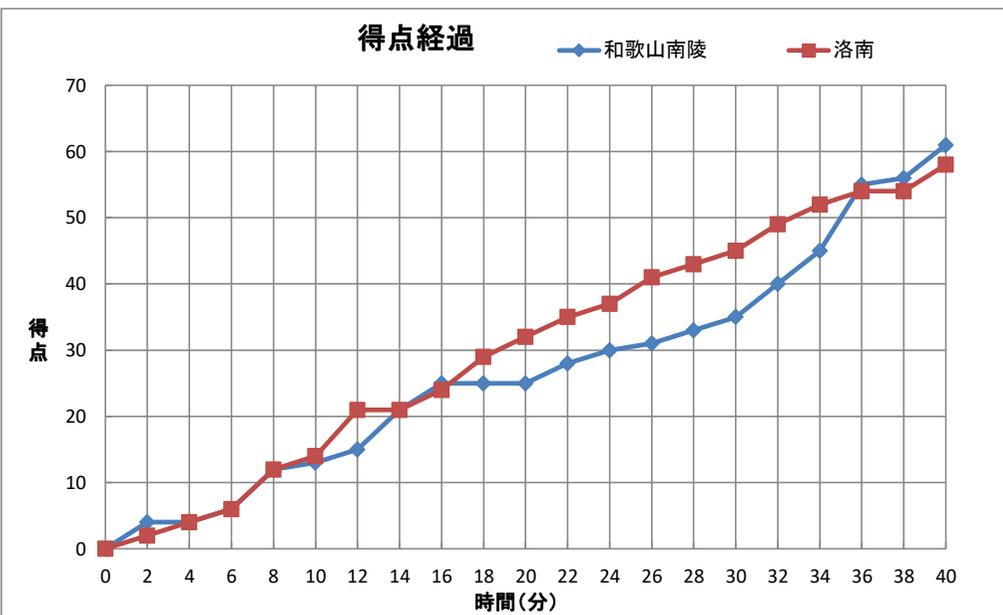




# 第71回近畿高等学校バスケットボール大会

## 個人トータル表

男子							令和6年6月22日 16:55 開始																		
準々決勝							和歌山ビックホエール B																		
◎ 和歌山南陵 61 (和歌山)							<table border="1"> <tr> <td>13</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr> <td>12</td><td>2nd</td><td>18</td></tr> <tr> <td>10</td><td>3rd</td><td>13</td></tr> <tr> <td>26</td><td>4th</td><td>13</td></tr> </table>							13	1st	14	12	2nd	18	10	3rd	13	26	4th	13
13	1st	14																							
12	2nd	18																							
10	3rd	13																							
26	4th	13																							
							58 洛南 (京都)																		
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則												
* 4	二宮 有志	11	2	2	1	2	4	池澤 智史	0	0	0	0	2												
* 5	紺野 翔太	11	3	1	0	1	* 5	松本 奏	27	2	10	1	3												
* 6	ALTYU IDRIS ABUBAKAR	32	2	10	6	4	* 6	中島 悠登	9	0	4	1	3												
* 7	藤山 凌成	0	0	0	0	1	* 7	佐々木 凌汰	2	0	1	0	4												
* 8	酒井 珀	2	0	1	0	1	8	田中 夢大	4	0	1	2	2												
9	中村 允飛	5	0	0	5	1	9	小林 祐	-	-	-	-	-												
		-	-	-	-	-	10	石田 暖光	-	-	-	-	-												
		-	-	-	-	-	11	木村 隼	-	-	-	-	-												
		-	-	-	-	-	12	神原 龍太郎	0	0	0	0	3												
		-	-	-	-	-	* 13	中西 慶	14	4	1	0	2												
		-	-	-	-	-	* 14	小杉 思	2	0	1	0	1												
		-	-	-	-	-	15	中西 琉偉	-	-	-	-	-												
		-	-	-	-	-	16	菊池 瑛太	-	-	-	-	-												
		-	-	-	-	-	17	安川 要大	-	-	-	-	-												
		-	-	-	-	-	18	方 東昇	-	-	-	-	-												
コーチ	和中 裕輔						コーチ	吉田 裕司																	
Aコーチ	山本 みどり						Aコーチ	河合 祥樹																	
合計		61	7	14	12	10	合計		58	6	18	4	20												
クルーチーフ: 富島 健司																									
アンパイア: 木村 裕也 山本 毅																									



TO	1・2Q		3・4Q			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	10:55	:	26:04	39:01	:	:	:	:	:
TeamB	:	:	34:07	35:54	38:35	:	:	:	:

〔戦評〕

〔第1Q〕  
準決勝進出をかけた試合は和歌山南陵#4#5#6#7#8、洛南#5#6#7#13#14、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。和歌山南陵は#6の力強いポストプレイ、3Pシュート、#8のドライブインで攻撃を組み立てる。洛南は、#5の1on1からのオフェンスと#13の3Pシュートで対抗する。13対14で、洛南1点リードで第1Q終了。

〔第2Q〕  
和歌山南陵はディフェンスを2-3ゾーンディフェンスに切り替える。洛南は#5が軸となり、バスケットカウントを決め流れを掴んだように思えたが、和歌山南陵#6の活躍で一進一退の攻防が続く。しかし、終盤#13の3Pシュートが連続で決まり25対32で洛南が点差を広げ第2Q終了。

〔第3Q〕  
和歌山南陵は第2Qに続き、ゾーンディフェンスでスタート。和歌山南陵は#6にボールを集めオフェンスを組み立てるが、洛南の#13の3Pシュート、#5のミドルシュートが決まり、思うように点差を縮めることができない。35対45と洛南がさらにリードを広げ第3Q終了。

〔第4Q〕  
和歌山南陵は#5の3Pシュートが3本連続で決まり55対54と残り4分05秒で逆転する。洛南は和歌山南陵のゾーンディフェンスを攻めあぐね、得点を重ねることができない。終盤試合の流れを掴んだ和歌山南陵が61対58の3点差で勝利し、準決勝進出を決めた。

戦評: 庄田 光敬 記録: 和歌山北